

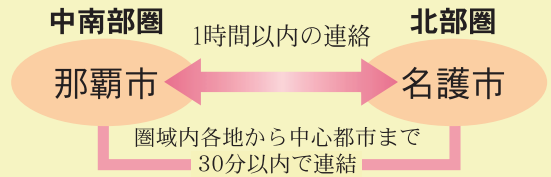
沖縄県広域道路整備基本計画

沖縄県は、活力ある地域づくりを推進し、豊かさやゆとりある生活を実現していくため、中長期的視点から、地域構造を強化し各種地域活性化施策を支援するために必要な、高規格幹線道路(沖縄自動車道、那覇空港自動車道)と一体的に機能する広域的な幹線道路網に関する今後の整備計画として、沖縄県広域道路整備基本計画を策定しました。

本計画は、地域整備や道路整備の目標及び基本方針を定めた「沖縄県広域道路整備の基本方針」と、これをネットワークとして示した「沖縄県広域道路網マスタープラン」から構成されます。[平成5年12月22日公表]

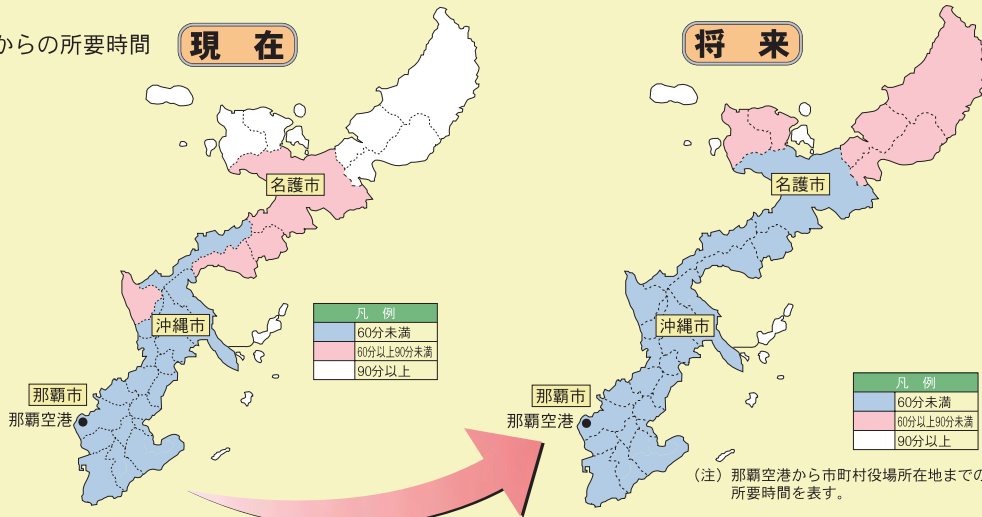


那覇糸満線(新川交差点)



沖縄県広域道路整備の基本方針

■那覇空港からの所要時間



(注) 那覇空港から市町村役場所在地までの所要時間を表す。

沖縄県広域道路網マスタープラン

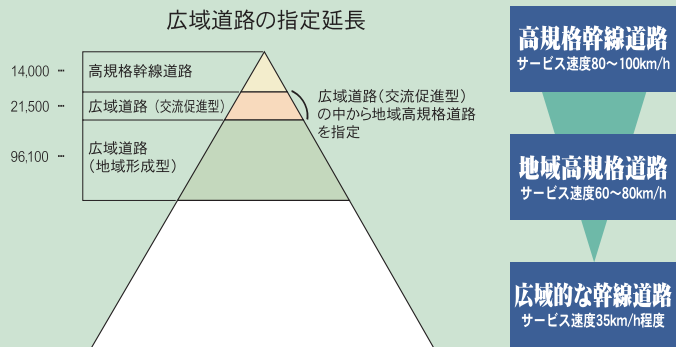


※この図は今後の道路整備のマスタープランであり、具体的な路線ルート、位置などを規定するものではありません。

凡 例		
路線表示区分	指示方法	備 考
高規格幹線道路	IC	・併用及び整備計画区間
	□□□□□□	・基本計画及び予定路線区間
広域道路	—	・本線のトラフィック機能確保のため、整備の目標として特に構造上の強化を図ろうとする道路
	—	・沿道からのアクセス性に配慮した道路
検討区間	□□□□□□	・路線構造について今後検討する区間

高規格幹線道路

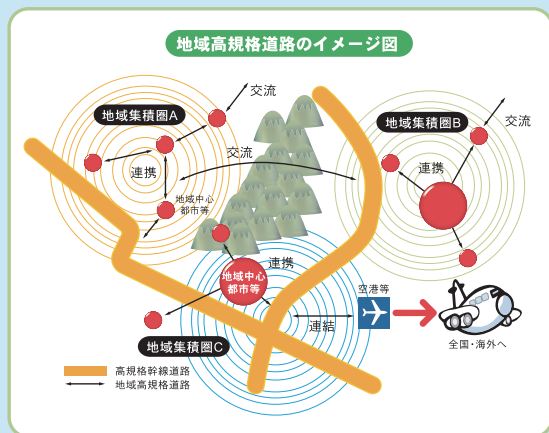
高規格幹線道路は、全国的な自動車交通網を形成する自動車専用道路です。昭和62年6月道路審議会答申に基づき6月30日に建設大臣により、国土開発幹線自動車道等(11,520km)及び一般国道自動車専用道路2,480km(本州四国連絡道路約180kmを含む)を合わせ21世紀初頭の完成をめざして、14,000kmの高規格幹線道路網の整備を進める予定となっています。



地域高規格道路

地域高規格道路とは、全国的な高規格幹線道路網と一体となって、通勤圏域の拡大や都市と農山村地域との連携の強化等による地域集積圏の拡大(連携機能)、高規格幹線道路を補完し、物質の流通、人の交流の活性化を促す地域集積圏間の交流を図り(交流機能)、空港・港

湾等の広域交流拠点や地域開発拠点等との連絡(連結機能)を図るための道路であり、自動車専用道路またはこれと同程度の機能を有し、高速サービスを提供できる道路として整備します。

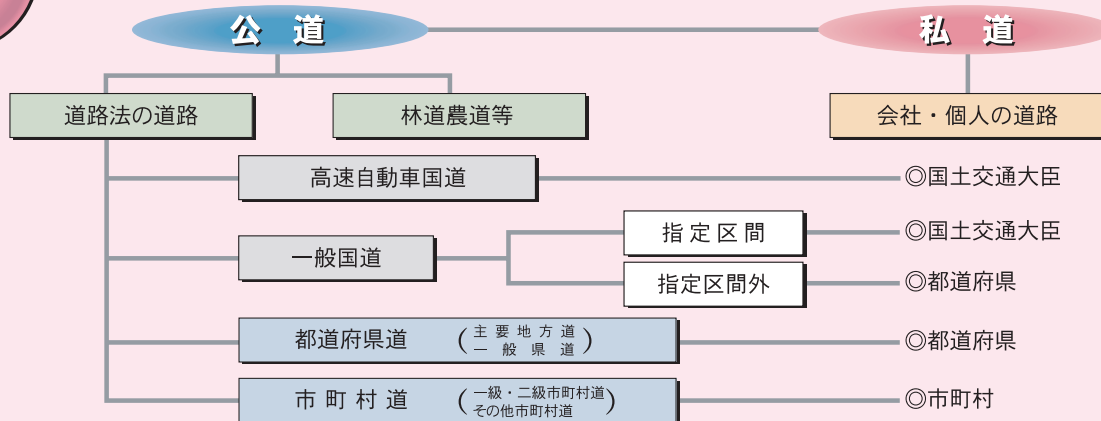


地域高規格道路

- ①連携機能 (combination)
 - ・核都市と農山村地域をはじめとする周辺地域が連携した広域的な地域・都市構造の形成を図る。
- ②交流機能 (communication)
 - ・さまざまな地域圏との活発な交流が可能となる多角的ネットワークの形成を図る。
- ③連結機能 (connection)
 - ・国際的、全国的な交流を図るため、空港等他の広域交通機関との効率的なネットワークの形成を図る。

ひとくちメモ

道路の種類



◎は道路の管理者

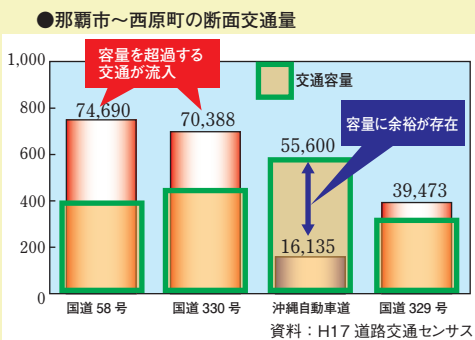
ハシゴ道路の構築

沖縄県における「道路のアンバランスな使われ方」や「那覇都市圏の深刻な交通渋滞」、「東西分断により沖縄自動車道ICへのアクセス性の低下」等の交通問題を解消するために『ハシゴ道路』の整備を推進します。

1. 現状と課題

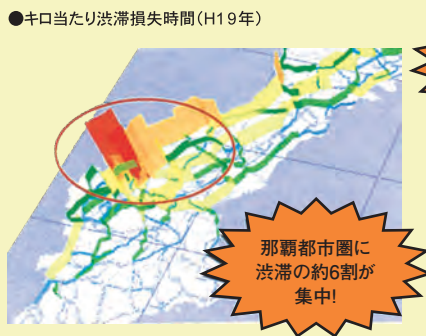
○道路のアンバランスな使われ方

沖縄県を縦貫する幹線道路は、交通容量を超過する交通を処理するのに対して、沖縄自動車道は交通容量に余裕があります。



○深刻な交通渋滞

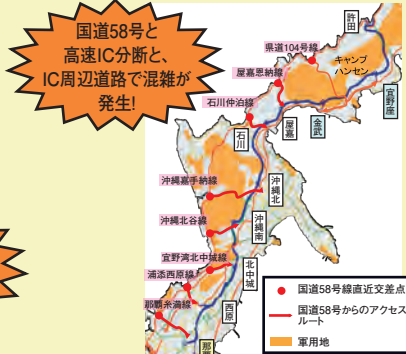
沖縄県の渋滞損失時間の約6割が那覇都市圏で発生しています。道路による抜本的な対策が必要です。



○米軍基地による地域分断

基地などによる地域分断から高速道路の利便性が低下しています。新規ICの整備等による高速道路の利用促進が重要です。

●国道58号から沖縄自動車道ICへのアクセスルート

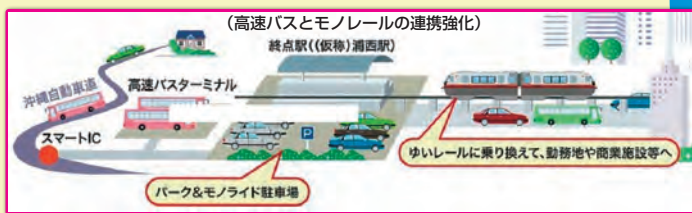


道路の計画

2. 『ハシゴ道路』の整備計画

- ①南北を走る強固な「3本の柱」
～国道58号(西海岸道路を含む)、329号、沖縄自動車道～
- ②柱を支える「東西連結道路」
～浦添西原線、県道24号線バイパスなど～
- ③高速を使いやすくするICの増設
～スマートICの設備～
- ④モノレールと高速バスの連携
～シームレスな乗り換えを可能とする～

【ハシゴ道路の4つの要素】

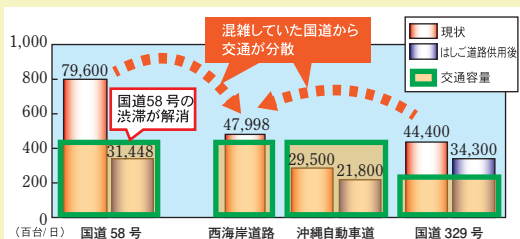


3. 『ハシゴ道路』に期待される効果

○道路のアンバランスな使われ方の解消

国道58号等に集中していた南北方向の交通需要が分散されます。

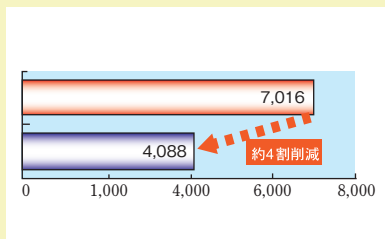
●那覇市～西原町の断面交通量



○深刻な交通渋滞

交通渋滞による渋滞損失時間が4割削減できます。

●渋滞損失時間の推移



○高速道路のICまでのアクセス時間短縮

高速ICまでの所要時間の短縮により、高速道路の利便性が向上します。(高速ICまで10分まで到着できる人口が39万人増加)

●高速IC10分到達人口の推移

